

5. 映像・情報の提供

(1) ビデオコーナー

エントランスホール内にあり、大津に関する様々な映像資料を提供している。短編ビデオには市内各所で行われる祭礼の概略を紹介する記録映像と、市内に伝わる有名な伝説に取材した番組、また、長編では、主に昭和40年代から60年代に制作された大津市内の記録映像を提供している。

ビデオコーナーの番組は、季節や内容にあわせて、「大津の年中行事—正月から春—」「大津の年中行事—夏から秋—」「大津の歴史と伝説」「大津の記録映像」「常設展示解説ビデオ」分類し、4台の端末からテンキーによって観覧者が自由に番組表から選択できるようにしている。映像は、別室にあるビデオサーバーから配信、各端末のモニターは21インチ。

提供番組一覧（大津市歴史博物館ホームページ参照）

URL <http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/annai/videomenu.html>

(2) ビデオシアター（100インチビデオプロジェクター）

エントランスホール内にある、大津市全体の概略を知るための映像システム。南北に細長い大津を地理的に捉えられるよう、毎時00分から現代の大津の姿を撮影した「空から見た大津」（平成18年撮影）を上映する。また、30分以降には、季節にあわせて四季折々の年中行事などの短編番組も上映している。

機器は、ビデオコーナーと同じく、ビデオサーバーに蓄積した映像からプログラムにより自動配信している。また、DVD2台、VHSビデオデッキとその制御機器、TV放送を上映できる設備を備え、必要に応じて配信できるようになっている。また、講演会などの際、講堂内の様子をカメラで映し出すことも可能となっている。上映は液晶プロジェクターを使用している。

(3) れきはく情報システム

エントランスホール内に設置している情報端末。「藤太の歴史クイズ道」「大津歴史ガイド」「れきはくデータベース」のコンテンツを提供している。操作はタッチパネル方式で、同じ機能を持つ4台を用意する。

① 藤太の歴史クイズ道

大津の歴史・民俗・考古・文化財などに関するクイズを出題する。テーマ別に16に分かれたコースから1コースを回答者が選択し、それぞれ5問の問題にチャレンジする。また、クイズを経験した上級者向けへの対応として、ランダムに出題されるクイズに間違いなく何問答えられるかを競うチャレンジモードを備える。50問以上を答えた来館者は「達人」として認定書と記念品を渡している。ソフトは、各端末内にインストールしている。

② 大津歴史ガイド

大津の主な史跡・行事を案内する。案内先は現在150ヶ所を用意し、それぞれカラー写真入りで120～130字程度の解説と交通手段が表示される。それぞれの史跡や行事の名称から検索できるほか、地域ごと、社寺・祭礼などの分野ごとにまとめて表示させ、そこから知りたい史跡・行事を選ぶこともできる。ソフトは、各端末内にインストールしている。

③ れきはくデータベース

れきはくデータベースは、「収蔵品紹介」「大津の古写真」「大津の歴史年表」の3つのコンテンツから構成されている。「収蔵品紹介」は、博物館に収蔵している資料のうち、館蔵資料を中心に解説を加えて公開しているもので、分野・時代から検索できる。「大津の古写真」は当館が収集した、明治から昭和40年頃までの大津に関する古写真、約4000点について、整理して解説を加えたものから逐次公開している。地区・年代・主題から検索できる。「大津の歴史年表」は、大津の歴史に関わる事柄を検索できるもので、地区・分野・時代・人物・キーワードの項目から、条件検索できるようになっている。いずれも、データは博物館の内部用サーバーに蓄積されており、外部公開の準備が整ったものから逐次追加している。

(6) 歴史博物館ホームページ

平成12年の映像情報機器のリニューアルにとともない、大津の歴史と文化の普及と博物館活動の周知のため、ホームページを開設した。平成12年10月に試験運用を開始し、コンテンツを充実して平成13年4月に正式運用を開始している。コンテンツは、「博物館の施設概要」「常設展示室案内」「展覧会・講座案内」などの博物館活動の情報に加え、博物館エントランスで提供している「れきはく情報システム」の中から、「収蔵品紹介」「大津の古写真」「大津の歴史辞典（大津歴史ガイド）」のコンテンツをホームページ用に加工して提供している。ホームページのデータは、外部からのセキュリティーの関係から、館内サーバーに置かず、物理的に切り離して民間のレンタルサーバーにおいて運用している。

ホームページアドレス <http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

(7) 歴史博物館ブログ（大津れきはく日記）

博物館の日常業務を積極的に紹介するため、平成20年6月からホームページに加え、滋賀咲くブログ内に「大津れきはく日記」(<http://otsurekihaku.shiga-saku.net/>)を設置した。ブログでは、展覧会やれきはく講座等の準備の様子や結果報告、貸しギャラリー情報等、ホームページでは紹介しきれない様々な情報を逐次記事として投稿し、博物館の業務や館内のイベント情報の周知に努めている。

(8) 大津れきはくニンテンドーDSガイド

歴史博物館では、平成23年4月1日より、「大津れきはくニンテンドーDSガイド」の提供を開始した。常設展示にご入館いただいた方に、ニンテンドーDSシリーズ®を使って、当館の学芸員が、普段の話し口調で親しみやすく、常設展示の内容解説や大津の歴史の豆知識を音声ガイドで紹介するシステムである。利用料は無料（常設展示入館料が必要）で、来館者が所有するニンテンドーDSの他、貸出用も準備している。

◇ニンテンドーDSガイドとは

「ニンテンドーDSガイド」は、ニンテンドーDSを使った音声ガイドサービス。ニンテンドーDSに、館内でソフトをダウンロードしてするだけで、音声と画像により、博物館の常設展示に関する様々な解説を提供する。利用はタッチパネルの使用のみで、子どもだけでなく幅広い年代が利用できる。

◇大津れきはく ニンテンドーDSガイドの特徴

◆展示解説ポイントは40カ所以上

常設展示の伝えきれない情報や、知って得する豆知識など、約40カ所をポイントして選定。当館の常設展示の特徴である復元模型や展示資料を、音声解説と補足写真を交えることでわかりやすく解説する。

◆当館学芸員の声による音声解説

ガイドの音声は、当館学芸員の声で収録。普段の常設展示の案内をイメージして収録し、実際の学芸員による展示解説のように聞こえる様意図している。また、歴史を専門の学芸員ならではの視点で捉えた解説ポイントも、いくつか織り込んでいる。

※ ニンテンドー3DS・ニンテンドーDSは任天堂の登録商標または商標です。